

12月のぞきん

色鮮やかに

安平町誘致企業会のボランティア事業が実施され、会員企業の有限会社ツキヌキザワ工芸社の協力のもと、遠浅公園・遠浅保育園の遊具をきれいに塗装しました。



リングプルの益金で購入した車椅子を寄贈

安平町（4か所）と厚真町（3か所）の郵便局職員の有志で作る「あつまっふる」が12月22日に安平町社会福祉協議会を訪れ車椅子を贈りました。

この会は平成10年から空き缶のリングプル回収を始め、収益金で車椅子を購入し社会福祉団体に寄贈し今回が4台目です。「職員が集められた物から不純物を取り除くため、業者が高値で引き取ってくれます。リングプル600kgで車椅子1台分なんですよ。」と代表の高橋康夫さん。今回の車椅子は特別養護老人ホーム「追分陽光苑」に贈られることになっています。



車椅子を贈る高橋さん（写真右）



胆振東部消防組合 渡邊消防長から賞状と記念品が渡された吉田さん。上の写真は作品。

防火ポスターで優秀賞



全国の4年生以上の小学生と中学生を対象にした防火ポスターコンクールで富岡小学校の吉田楓さん（5年生）が優秀賞を受け、12月22日に同校で伝達式が行われました。都道府県でそれぞれ3点ずつが選ばれ全国に。作品は防火標語「火のしまつ 君がしなくて誰がする」をイメージした図案で、火災予防の考え方が表現されていた点が評価されたものです。

学校では、今回の受賞を喜ぶとともに「今後もテーマに基づき、授業とタイアップしながら取り組んでいきたい」と話していました。

交通安全の願いを込めて

12月8日 国道234号弥生パーキング（追分）で老人クラブ「友の会」の皆さんが作った車用のしめ縄を無料配布。用意した200個のしめ縄と交通安全啓発用ティッシュは50分ほどでドライバーに配られました。

渡された時、強ばっていた運転者の表情が和らぎ何度も感謝する場面も見られ、会員の方も作った苦労を忘れる瞬間でした。冬に向けて交通安全の願いを込めたしめ縄の配布は今年で19回目を迎え、恒例行事となっています。



長年の活動が認められて

統計調査員の前田淳一さん（追分本町7丁目）が長年の活動実績により、経済産業省から統計功労者として感謝状が贈られ、12月3日に追分庁舎で伝達式が行われました。

前田さんは昭和60年の国勢調査以来各種統計の調査員に従事。今回は、商業統計や工業統計など長年の貢献に対し贈られたものです。



前田さんは、「これまでの活動が認められて光栄です。このことが他の調査員の励みになればと思います。今は、個人情報やプライバシー意識の高まりなどで統計調査はとても大変ですが、統計調査は私たちの暮らしに重要なものです。これからも頑張っていきたいですね」と話し、「統計調査の実施に当たり、調査員の方が伺った際にはぜひみなさんのご協力を」と皆さんの理解と協力を求めています。